

教職員・院生版生協だより

No. 278

2008年7・8月号

発行 名大生協理事会

編集 名大生協教職員委員会

☎ 学内線 7540, 学外線 781-1111

かけはし



マルセパンの工場見学
鈴木社長の熱意ある話に聞き入る参加者

名大生協のホームページ (URL) <http://www.nucoop.jp/>
教職員委員会への e-mail あて先 kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

も く じ

【主張】

南部食堂の全面的改修を組合員の要望で実現しよう -----	3
柴山専務の新任挨拶 -----	3

【企画案内】

瑞浪・中国人殉難者慰霊祭と化石博物館見学 -----	4
----------------------------	---

【報告】

名大祭「ミニ平和資料館&フェアトレード Cafe」のとりくみ ---	5
2008 年豊川海軍工廠現地調査と ミニ平和資料館での展示の意図 -----	6
スタジオジブリの高畑勲監督名大祭で大いに語る -----	10
ワンダフル！ マルセパン !!-----	11
マルセパン工場見学参加者の感想 -----	13
6 月度理事会報告 -----	20
教職員委員会活動日誌 -----	20

【記事】

東山キャンパスおよびその周辺のゾウムシ⑦

「路傍の雑草にひそむゾウムシその 2」-----	14
--------------------------	----

ニュースに一喝！

「変な聖火リレー」「サイクロン被害」 「スピリチュアルブーム」 -----	16
--	----

魔言

「コンピュータの所為」「『もったいない』と言ったって」 「だから言ったのだ」 -----	18
---	----

アンケート・クイズ解答用紙 -----	22
---------------------	----

かけはしの輪 -----	23
--------------	----

CO-OP QUIZ < Logic > -----	26
----------------------------	----

南部食堂の全面的改修を 組合員の要望で実現しよう

今年度の第80回常総代会は5月30日(金)の夕方5時15分から8時40分にかけて南部食堂ホールで開催されました。この総代会は生協の最高議決機関で、前年度の活動報告を振り返り、決算の承認(剰余金処分を含む)および今年度の活動方針と予算、新役員を決定する重要な会議です。今年度は教職員総代として38名の方に総代を承諾していただき、今後定期的に懇談会を開催しながら、よりよいお店の実現を目指して貴重なご意見を伺っていききたいと思います。

生協では事前にカラー版の総代会解体新書(ダイジェスト版)を作成し、懇談会で議案書説明会を開催したり、各店舗や生協通信を利用して組合員の皆さんにお届けしてきました。今回の総代会の運営は、総代会プロジェクト(各組織委員会代表と専従職員で構成)で鋭意検討を加え、次の5つのテーマについて話し合いました。

- 1、安心・安全な商品、そして食を見直す活動を
- 2、40年が経過した南部食堂の全面的改修を
- 3、組合員が主役の生協づくりを
- 4、レジ袋の削減に向けて

の取り組みを
5、改正生協法に基づく定款の改正を

全体会の前のテーマブースでは「レジ袋の削減とエコバックの開発、安心・安全への取り組み、南部食堂の改修、各組織委員会(班・SS活動)」についてブースを設け展示コーナーと体験コーナーを設置しました。前半、後半に分けて順番にまわってもらい、色々な活動や状況がより把握でき、理解し合えるようにしました。参加者が思い思いに参加し、意見交流が行われました。全体会では、07年度の活動報告と決算報告があり、8件の全体発言がありました。発言を受け理事會から新年度活動について回答がありました。その後、提案された全議案が賛成多数で可決されました。理事会から推薦された新役員も全員新任されました。総代会終了後、第1回理事會が開催され、戸田山理事長の再任、柴山新専務理事、佐野新常務理事の就任が決まりました。

名大生協は創立50周年を機に策定した「ビジョン」と「アクションプラン」に

基づき、大学との相互協力の下、福利厚生施設の改善に努力してきました。その



結果、一昨年の理系地区の店舗改装に引き続き、昨年の夏、北部厚生会館1階の全面的な改装を行い、明るく広く清潔な大学生協版のコンビニエンスストア形式の「購買・旅行サービスセンター」として9月に、南部のパンだが屋を10月に、耐震対策された全学教育棟の「プランゾ」もこの4月にリニューアルオープンし、これらの建物の建設・改修にあたっては名大生協はこれまで組合員の利用による蓄えである施設開設準備金から大学に寄付してきました。

南部食堂の改修(改築)についても、ホールを大きくとって席数を大幅に増やすなど、組合員皆様のご意見をお聞きしながら、大学と協力して実現させていきたいと思っています。

いいお店にするため、ぜひご意見をお寄せください。食生活の改善や環境問題などをみんなと考えて実践していきましょう。

柴山専務の新任挨拶

1989年に名古屋大学生協に就職して19年、学生時代も含めれば、23年名古屋大学に通っています。生協に就職して数年後に、大学のネットワーク(NIC E)の敷設がはじまり、研究室のパソコンを当時10Base-5のイーエローケー

ブルにつなぐということ、で脚立をもつて学内をまわっていました。左肩に脚立、右手にネットワークをつなぐ道具をいれた黄色の買い物かごが私のスタイルでした。大型計算機センター(当時)をはじめ様々な方には色々とお世話になりました。その後、北部購買でパソコン関係全般(カウンスター)の責任者をつとめました。豊田講堂セイル「虹のつどい」で多くの方に喜んでいただいていたことが印象に残っています。その後南部購買に移り、再び北部購買に。そして北部厚生会館1階の改装論議をすすめる、昨年ようやく明るく広い購買に改装することができました。今年の5月には平日平均で利用者が約700名増えています。入協以来様々な方にお世話になりました。この5月末の第80回常総代会にて理事に選出され、第1回理事會にて専務理事に互選されました。まだまだ力不足ですが、ともに働く生協職員とみなさまのお力を借りながら生協運営の舵をとっていきたいと思います。就任して早々ですが、南部食堂改装が実現の課題となつています。築後40年近くたつ南部食堂を利用する方の要望に応えた、いいものの実現に向けて奮闘して行きます。今後ともよろしくお願い致します。

瑞浪・中国人殉難者慰霊祭と化石博物館見学

一緒に平和について学びましょう

瑞浪市の戸狩山（通称：化石山）の山頂に日中不再戦の誓いという碑が建っています。満州事変の発端となった柳条湖事件の9月18日に近い日曜日に、この碑の前で中国人殉難者慰霊祭が行われています。この化石山の麓には戦時中空爆にも強い地下軍需工場を造ろうと、昭和19年から20年にかけて日本軍による強制連行された朝鮮人と中国人を使って掘らせた地下壕があります。ここでの労働は1日2交代で24時間働かせて与えられる食事は小麦粉とこめかで出来た粗末なパンを1日に3個だけだったそうです。重労働と栄養失調により39名もの中国人労働者がこの地でなくなりました。

教職委員委員会では毎年、この慰霊祭への参加を組合員に呼びかけています。今年も慰霊祭参加と地下壕と隣接する瑞浪市化石博物館を見学します。一度参加してみませんか。

開催日：**9月21日**（日）

参加費：**無料**

集合・出発：**9時30分**名古屋大学博物館前

午前中に化石博物館の見学

昼食（自己負担）

化石山・地下壕見学

瑞浪市明世町戸狩山（化石山）

日中不再戦の誓い碑で中国殉難者慰霊祭に参加

慰霊祭終了後：参加者の感想交流

17時 大学帰着予定

持ち物：長靴、懐中電灯、ある方はヘルメットをご持参ください。

問い合わせ先：kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

参加申込：<http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/application.html>



名大祭「ミニ平和資料館」 フェアトレードCafeのよみ

第49回名大祭(6月5日～8日)の期間中、有志企画として、「ミニ平和資料館&フェアトレードCafe」を全学教育棟C20教室にて開催しました。

この取組みは2001年から開催しているもので、ここ数年は生協ユニセフ班との共催で、千種区九条の会の協力も得て、年を追うごとに賑やかな取組みとなってきました。

今年は残念なことに食中毒事件があり、最終日の企画がすべて中止となつてしまいました。土曜日に「戦争体験を語る会」や生協留学生委員会の企画「ミャンマー・中国四川救援緊急募金」のよびかけなどを実施することができたことは幸いでした。

【一般展示企画】

DANCEの活動紹介と募金・グッズ販売

フェアトレード運動の紹介と販売・試飲(Cafe)
千種区戦争遺跡マップ・千種区九条の会の紹介・九条グッズ販売

名古屋大学平和憲章、日本国憲法に関する展示

【特別企画】戦争体験による戦争を語る会(6月7日)

11:00～中川礼治さん

「戦争は惨い」三菱重工大幸工場の空爆を目の当たりにして
13:00～佐々木あきさん

学徒動員で豊川海軍工廠空爆にあい多くの学友を失った体験

14:00～浜島成子さん

満州北部からの引き上げ体験、収容所で1年間、弟妹を失い、私も残留孤児寸前に・・・

軍隊は決して国民を守らないことを見せ付けられました!

【テーマ企画】豊川海軍工廠の悲劇

(6月8日・映画「早咲きの花」上映中止)

今年の「ミニ平和資料館」のテーマは「豊川海軍工廠の悲劇」です。東洋一と謳われた豊川海軍工廠は、ヒロシマ・ナガサキ原爆投下の間の8月7日、500ポンド爆弾による徹底した爆撃によって壊滅しました。この軍事工場に多くの学童・女学生が動員され、幾多の悲劇が・・・500ポンド爆弾の模型を借りることができて、迫力のある展示になりました。

8日には豊川海軍工廠の空襲をテーマにした映画「早咲きの花」を上映する予定でしたが残念ながら実施できませんでした。

土曜日1日だけでも、来場者の皆さんに展示をよく見てもらい、まだこのような遺構が残っていることに驚かれました。

【連帯企画】

名大祭と平和行進がいつも重なってしまい残念・・・でも連帯はできる!!

平和行進が行われています。横断幕にメッセージを書いてもらいました。私たちの思いをのせて、この横断幕は6月8日名古屋集中行進に参加しました。

平和の思いを込めて「折り鶴」をたくさん折ってもらいました。家族連れで来てくれた女の子(小学校低学年)の姉妹に折りかたを教えること、競い合つてたくさん作ってくれました。この「折り鶴」はヒロシマ・ナガサキに届けます!!

【緊急企画】

ミャンマーサイクロン・中国大地震は今・・・緊急救援募金を呼びかけました。

名古屋大学の留学生が参加者に直接訴えました。とてもよくできたナレーションで、中国で報道されている写真は日本で行く写真と差がなく、日本の救助隊の活躍が詳しく報道されていることを知りました。

7日の来場者数約80名

今回の名大祭有志企画「ミニ平和資料館&フェアトレードCafe」は、8日の企画が中止と

なつてしまいましたが、生協留学生委員会とユニセフ班のメンバーで交流できたことは大きな成果でした。

「ミャンマー・四川災害緊急支援募金」は約7000円、フェアトレードの売り上げは12000円、8日が中止になったことを考えればずいぶん健闘したのではないかと思います。

最後に、企画に協力していただいた千種区九条の会、留学生委員会、ユニセフ班、名大九条の会、学生九条の会、生協教職員委員会そして会場に足を運んでくれたみなさまに感謝します。そして、豊川商工会議所から500ポンド爆弾の模型をかしてくるよう交渉し、名古屋大学まで運んでくれた豊川海軍工廠跡地保存をすすめる会の夏目さんに感謝します。

最後に、名大祭実行委員会の弁護を一つ。彼らはどの有志企画にもその企画が成功するようにと、献身的に努力してくれました。もし彼らの援助がなければ「ミニ平和資料館&フェアトレードCafe」は実施不可能でしょう。名大祭実行委員会は今回のことを前向きに捕らえ、社会とのかかわりを考える中で自主性を確保する大人のイベントへと成長してほしいと願っています。彼らの誠実さに声援を送ります。

(河合利秀)

2008年 豊川海軍工廠現地調査 とミニ平和資料館での展示の意図

名大九条の会事務局 河合利秀

皆さんは、名古屋大学の敷地の中に戦争の傷跡が残っていることをご存知でしょうか。

この報告は、名大祭の有志企画に豊川海軍工廠跡地の問題を取り上げようと考え、5月11日（日）に実施した現地調査とそこに参加した皆さんの感想を含めてまとめたもので、名大祭にて配布したパンフレットに記載した内容や6月7日の戦争体験の証言を元に手直したものです。

豊川海軍工廠跡地、それは、太陽地球環境研究所（STE研究所・豊川市）の敷地の中にあります。STE研究所は豊川海軍工廠の一部（約10分の1）をそのまま借り受け、太陽電波望遠鏡などの設備を建設しました。他の敷地は民間企業に払い下げられ、あるいは自衛隊の基地として利用され、整地されて何も残っていませんが、名古屋大学は海軍工廠の遺構をそのままの状態です。今日に至りました。

この土地は、名古屋大学の空電研究所として戦後大きく発展した太陽電波観測の拠点として、

学問を育み最先端の研究を支えてきましたが、一部の施設を除きSTE研究所は名古屋の東山区へ統合することとなりました。名古屋大学は海軍工廠の遺構を整理するだけの財政的余裕のなかったことが幸いし、一部は研究を展開する場所として利用されながら、遺構のほとんどをそのまま今日まで残すことになりました。STE研究所の敷地内には、今回ミニ平和資料館で紹介したように、弾薬庫、火薬乾燥室、材料庫、500ポンド爆弾のクレーター、防空壕、側溝や街灯など、当時のまま残っています。弾薬庫や材料庫の壁には爆弾の破片が衝突した跡が多数残っています。

1、日本の軍事優先がもたらした悲劇

豊川海軍工廠の大きな特徴は、軍艦に搭載する銃器と共に弾薬の一大生産工場だったことです。

薬莖に火薬を詰めたり、レンズなどの光学部品の検査などは、辛抱強い三河の女性たちによく



光学部・指揮兵器部事務所付近

空襲前の豊川海軍工廠の様子が最もよく分かる写真です。



弾丸防湿作業風景

た。もう一つの特徴は、熟練工が戦場に徴用されたことにより、現場の指揮・指導にあたるため、早稲田や立命館など全国の大学から若い学生が集められたことです。

こうして、最盛期には5万人を超える人々が動員され、東洋一の生産規模を誇る大工場は女学生や国民学校高学年の子供たちが支えることになったのです。

東洋一の規模を誇るこの大工場は、旧日本軍の軍事工場として極めて完成度の高いものでした。水害に強い二重の排水溝や地下に埋設した電気系は当時の最先端。各作業所は土塁で仕切られ、作業所の壁を丈夫にすると同時に天井や屋根を軽くして爆発事故があっても爆風を上に抜いて誘爆を防ぐ構造。弾薬庫も積み出し用プラットホームの位置や角度を変えて誘爆を防ぐようになっていた。夫のあとがあり、現在残っている側溝などはまだびくともしないほど堅固なものです。



レンズ検査作業風景

それに比べ、工員を守る方策や設備は極めて貧弱なものでした。例えば、防空壕です。普通、防空壕というと、横穴式のしつかりしたもの思い浮かべます。しかし、豊川海軍工廠の防空壕は、コの字型の1~1.5mの深さの溝の上に板を乗せて土を被せただけの脆弱なものでした。

この防空壕は、作業員を守るためのものではなく、効率を考えたものでした。空襲警報が出たときに素早く大事な工具類を作業員が持ち出して穴に隠れ、警報が解除されれば直ぐに作業に戻る……。

戦争とは、このように人の命が著しく軽んぜられることなのです。戦争に勝つためにはあらゆる物を犠牲にする。人権もなにもかも。このことを、私たちは忘れてはならないと思います。

豊川海軍工廠の爆撃・・・僅か26分間で失われた3000余の命。しかし、いまだにその数は確定していません。海軍工廠に出入りしていた民間人などの被災者の正確な数が分からないのです。軍事工場が壊滅したというニュースは当時極秘扱いとされ、長らく公表されませんでした。爆撃の犠牲者は諏訪地区など何箇所かに埋められ、遺骨



空襲後の豊川海軍工廠（正門付近）

収集もままなりませんでした。豊川海軍工廠で命を落した人々はともに弔われることもなく、数年にわたって放置されたのです。ここにも戦争の愚かしさと醜さが端的に現れています。

2、米国の残酷な戦争犯罪：市民を標的にした軍事実験

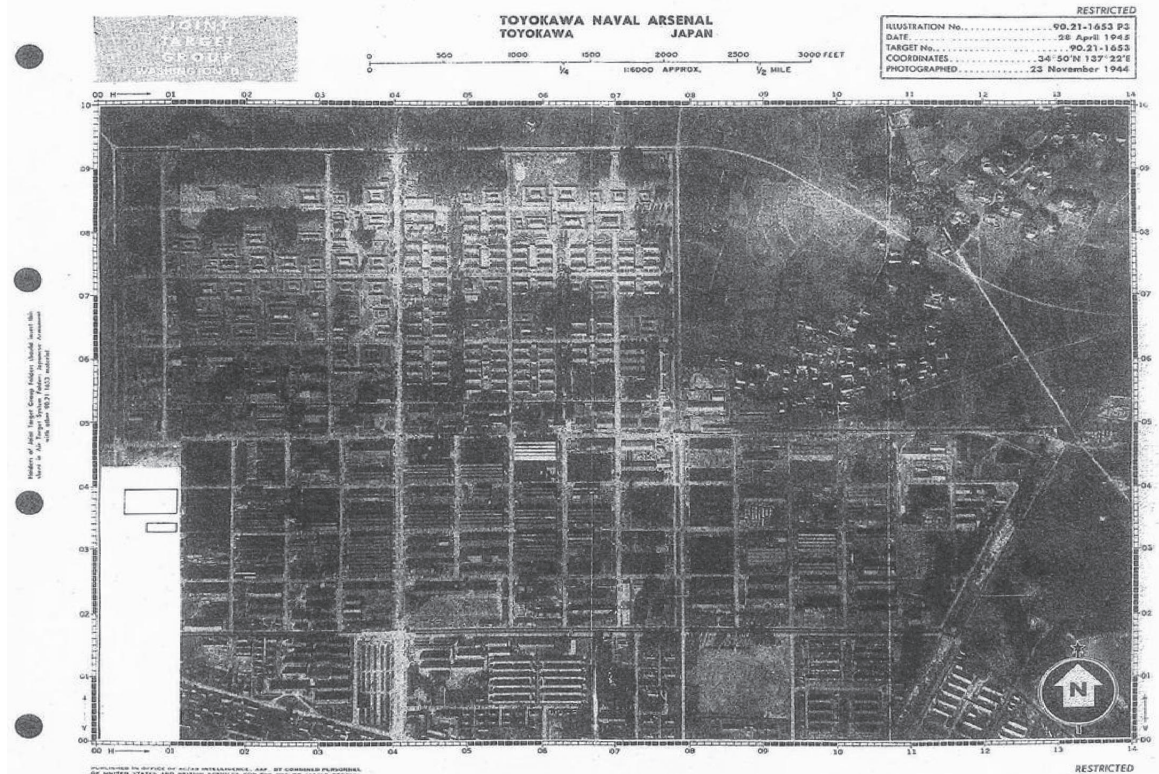
豊川海軍工廠の悲劇は、広島、長崎の間に隠れて忘れられがちですが、原爆投下と同じく、米軍による戦争犯罪であると断言できます。米軍は戦争の勝敗が決した最終盤になって、自国の軍事力を誇示するために、無抵抗な市民を標的にして、軍事作戦の実験を行ないました。この豊川海軍工廠爆撃もそのような作戦であったといえます。

サイパン島の飛行場から飛来したB29の大編隊は、日本の各都市を爆撃しました。しかし、豊川海軍工廠はそれまで組織的な爆撃をせず、無傷でした。米軍は爆撃作戦を挙行する前に、詳細な空中写真を撮影し、爆撃後と比較して爆撃作戦の評価を行っています。この写真と3256発の500ポンド爆弾投下地点を克明に記した図とともに、彼らの爆撃作戦の効果を研究したとしか言いようがありません。戦局

に影響しないほど生産性の落ちた工場に少女と少年の働く姿を捉えていたはずでした。

爆撃が止んだ後、生き残ったものたちはさらに恐ろしい光景にでくわしました。

爆撃機は、爆弾を全て投下しないと、燃料切れで基地まで戻れません。しかし護衛の戦闘機は違います。反撃のないのを良いことに、超低空飛行で生き残った少女たちをめぐり、執拗に機銃掃射を浴びせたパイロットもいました。地上にはもはや反撃する力は残っていません。辛うじて生き残った人々が仲間を助け出そうと必死で動き回っているときです。非情な攻撃はウサギ狩りを楽しむ狂気のカウボーイとしか思えない、非人道的なものでした。（このことは6月7日の戦争体験を語る会で、佐々木あきさんが明確に証言されました。「戦闘機のパイロットは明らかに私たちを狙って機銃掃射した」と。）



豊川海軍工廠上空写真（昭和19年11月23日）（国立国会図書館蔵。原資料：米国国立公文書館蔵）

3、爆撃を生き残った人々の手記から

(豊川海軍工廠・被爆学徒たちの手記「母さんが中学生だったときに」エフエー出版1988年刊、松操高等女学校8・9回卒業生編集より2編を抜粋・人名は伏字としました)

鼻をつく死の臭い S・A さん 機銃部第四機銃工場

昭和二十年八月七日、朝からカッと太陽が照りつける。そんな青空になぜか白い大きな雲が不気味に浮かんでいたことを覚えていた。

この日は一時帰省が許される日だったので早々に支度をととのえ、先生からの許可を待った。ところが、寮に下痢患者が大勢出たため、待望の外出が許されず、重い心で朝食をすませた時だった。突然、警戒警報が空襲警報に変わり、まもなく退避命令。身の回りのものを持って防空壕へ急いだと同時に防空壕へ逃げた。群れをなすB29の爆音。つんざくような爆弾の炸裂、火柱はまたたく間だった。言いうもない、狂ったようなすさまじい爆撃。今でも目に、耳に、焼きついている。壕の中はだれもが生きた心地は

しなかった。泣き、叫び、うめく声、私はもう助からないと思いい、心の中で「お父さん！お母さん！さようなら」とつぶやいた。その時、危険を知らされ「芋畑ぞいに逃げろ！」と隊長さんの命令。ほとんど同時に戦闘機がバリバリと音を立てて頭上をかすめた。

畑に伏せながらやつとの思いで民家に逃げのびた。そこで汗と泥にまみれた友人二人と会えた。何よりも心強く思った。こんな恐ろしい事は一生忘れることはできない。その夜、寮も惨憺たるものだった。真つ暗な恐怖の一夜を過ごした。

翌日出勤、正門前の堀には黒焦げの死体が重なっていた。手足はちぎれ、鼻をつく血の臭い、死の臭い、とても正視できる状況ではなかった。

それは地獄だった。十四歳で地獄を見た。たくさんの友が、固い固いつぼみのまま殺されてしまった。四十年過ぎた今でも、私の心は痛み、うずく。彼女らの犠牲の上に今の日本があり、私たちの暮らしがある。戦争は全てを破壊する。その事実をこの目で確かめた私たちは、再び戦争を起こしてはならぬと声を大にして叫びたい。

友が私のひざの上で A・M さん 機銃部第一機銃工場

母は、私のために自分の着物をほどこいてモンペを作ってくれました。夏のことであり、少しでも涼しいようにと麻地を選ぶ心遣いに嬉しく思いました。

あの日、空襲警報が出たので、事務所の前まで行きました。そうしたら「避難命令は出ていない」と叱られ、戻ろうとしたところ、まもなく爆音がしました。驚いて防空壕に入ろうとしたが、そこはすでにいつばいで北側の入り口から転がり込みました。その時、爆弾が近くに落ち、私は気を失ってしまいました。どれぐらいたったでしょう。気がついた時、私のひざの上に○子さんがうつぶせになっていました。

「○子さん！○子さん！」と叫び、肩をゆすりました。二三度○子さんは動きましたが、いくら呼んでも返事がありません。右手と左足が爆風で崩れた防空壕の柱の下敷きになり、その上に砂がくずれているので、苦しいやら痛いやらたまりません。そこへ男の人が通りかかったので、「助けて！」と叫びました。でも、その人は「自分の命が危

ない」と言って、足早に去ってしまいました。いつそ死んだほうがましだと思いつながら、目を瞑りじつと耐えていました。

そのうち空襲が解除になって、やっと別の男の人に見つけてもらい助けられました。同じ壕の中に7・8名は入っていたと思いますが、名前は分かりません。私一人だけが助かったようです。防空壕の入り口が直撃にあいながら助かったのが不思議です。タンカに乗せてもらい正門を出るとき、「こいつは生きている、頑張れよ！」と言われ、心強く思いました。

大通りのあちらこちらには、黒焦げの死体が重なっていました。死体をシャベルですくって食堂のりやカーで運んでいるのを見ましたが、あの臭いは忘れられません。

牛久保の病院に収容され、三日も家に帰ることができず、一般の人と一緒にいたため学校への連絡もとれませんでした。行方不明者として先生方や両親に大変な心配をかけました。それにしても、私の膝の上で息を引き取った○子さん、40年以上過ぎた今でも、私のひざの上に彼女の感触が残っています。

スタジオの
スジブ

高畑勲監督名大祭で大いに語る

あなたは「ハラハラ」派

それとも「ドキドキ」派

6月7日(土)、平和憲章委員会主催、名大学生九条の会協力のもと、映画監督の高畑勲さんをお招きして、仏アニメ映画『王と鳥』の上映会と高畑勲監督による講演会が、名大祭の有志企画として開催されました。

高畑監督はアニメ映画監督として活躍されながら、映画人九条の会の結成呼びかけ人として会に所属され、幅広く活動されてきました。改憲論議が徐々に活発化する中、平和に対する学生の関心を集めたいという気持ちと同時に、著名な方をお呼びすることで会の活動にはずみをつけたい、という気持ちもあり、今回の企画をしました。来ていただけるかどうかは全くわかりませんが、ダメで元々、と思いながら映画人九条の会に送ったメールに高畑勲監督ご本人から返信をいただき、企画への参加をご承諾いただきました。当日は、高畑監督がアニメーションの世界に足を踏み込む

きっかけとなった『王と鳥』の上映から多くの方にご来場いただき、高畑監督の講演会も、用意していた会場を埋める程(120、130人)の盛況でした。講演会は『ハラハラ』と『ドキドキ』はどう違うか』というタイトルで、映画を観る時の私達の姿勢のお話しを起点として、社会に対する私達の認識、さらには憲法九条や平和、戦争に対する見方についての考えをお話いただきました。

映画の登場人物や場面を、少し引いて客観視している「ハラハラ」に対して、登場人物に感情移入して一緒に「ドキドキ」する映画が現代では多くなっている。高畑監督は指摘します。そこから、現代の社会についても状況を客観的に見るといって走り、大衆が一体となって「突っ走って」行ってしまう状況があるのではないかと、という指摘だったと思います。難しいお話でしたが、参加者の方から『王

と鳥』を観てから聞くことによつて、理解が深まったという声をいただきました。

会の終了後、多くの方に企画に対するご意見、ご指摘をいただきました。概ね好評だったことにほっとしています。ただ、だからこそ今回のような魅力ある企画、人の集まる企画を開催すべきだという事も感じました。私達の社会の状況を客観的に分析し、平和憲章委員会、学生九条の会としてどのような活動を行っているか、意味でも、今回のご講演で考えさせられ、大変有意義な企画となりました。

(平和憲章委員会 米津直希)



参加者の感想から

・物事や今回の映画も含めてハラハラの観点から見つめ直すことが必要ではないかと思いました。
・今日の講演を聞いて、監督の作品と通じている部分を感じて興味深かった。
・9条は、想い入れなどを受け入れやすい日本人にとって、歯止めとして必要なのを聞いて、なるほどと思った。

ワンダフル！マルセパン！！

全学技術センター 河合利秀

今まで、生協に品物を納品しているところはいくつかお邪魔したが、今回は飛びつきり面白かった。社長さんの熱い熱いトークは僕たちのハートを鷲つかみにして、マルセパン・ワールドへと誘った。

関が原インターを降りて中山道を名古屋方面に戻ると、垂井町である。駅をちよつと過ぎたあたりの左手に、おいしいパン

屋さん、Guruman・Vital(グルマン・ビタル)の看板がある。その手前が今回訪問するマルセパンの工場だ。駐車場は多数停められるにもかかわらず、ほぼ満車状態。店内からは香ばしいにおいが漂ってくる。

先代の経営していたパン工場は地元の小学校にパンを供給していた。先代はパンの品質向上ではなく営業努力でパン工場を

経営していたという。従って地元民のマルセパンに対する評価は芳しくなかった。

社長は工場を引き継ぐとき、単にパン工場をそのまま引き継ぐのではなく、父親の工場に對抗して、新しいコンセプトのパン工場を建設し、直販店を営んだ。先代とは違う方法でパンを作りたいという強い意識が、コストを重視

したパン作りではない、一切手抜きなしの本物のパンを作りたいというコンセプトを生み、若い職人とともに新しいスタイルで先代の工場に對抗したのだ。それがグルマンである。

幾多の苦勞を重ね、グルマンが成功すると、本体のマルセパン自身も大きな変貌を遂げる。先代のパン工場も引き継いで、高品質な学校給食用のパンを供給、生協とも契約して地域社会に定着させ、マルセパンに対する地域住民の評価を逆転させた手腕は『すばらしい！』の一語に尽きる。

しかし、手抜きなしのパン作りにも限界がある。小麦粉に含まれる添加物の問題や、小麦粉の品質にもこだわり始めると、それまでの小規模だが量産型のパン作りではどうしても超えられない限界があるのだ。オーガニックパウダーなどでコストを度外視した手作りパンを作るとなると、パンの生地をこねる装

置が大きすぎて採算ベースにならないのである。

もう一つの問題は従業員である。目をかけて育ててきた若い女性の従業員が、技術的にやっとな一人前のパン職人として大成しようとしているにもかかわらず働き続けられないという問題に直面した。小規模であるがそれなりの数を生産するパン工場では、職人たちのグループ作業となる。ひとりが病氣や家庭の



パン職人の苦勞話を聞く

工場見学参加者



新緑の下での試食会



事情で抜けるとその穴埋めが大変なのだ。こうして有望な職人が工場を去ってしまう。
そこで考えたのが、一人の職人でできる究極の少量生産・手作りパン工房・ビタルである。これなら思いっきり贅沢なオーガニックパウダーを使い、小麦の挽き方を工夫して特徴のあるバ

ンが作れる。限定生産、概ね職人一人で作業できるので、若い女性の有望な職人さんも無理なく働くことができる。こうして、マルセパン、グルマンとも全く違うセンスのビタルが誕生したのだという。

こうした路線はお客さんと一緒にパンを焼くところにまで発展する。今作っているのはそうしたビクター用のパン工場だという。もし僕の子供が小学生ぐらいだったら、きつとすぐに予約を入れていたに違いない。

傲慢のパンを多数試食した。どれもこれも主張するパンである。一口食べると小麦粉本来の味や香りが口いっぱいに広がり、まるで僕の体が喜ぶようである。本当においしいものに出会ったときにだけ感じる独特の感触。それが一つの品種だけではなく、あれ

もこれも個性を主張しながら、身体がそれを待っているのかのように受け入れる。

この日、僕は気に入ったパンを買い込み、家に着くや、久しぶりにワインをあけた。生ハムとレタスと、このパンだけでワインを味わう、ちよつと幸せな時間をすごした。

パンに対する愛情と情熱、そして一緒に育ってきた職人さんを大切にする姿勢、インターネットを駆使して販路を拡大、今では日本中の舌の肥えたパン通が絶賛するマルセパン。

正直言つて、こんなパン屋さんが存在するとは、今まで全く知らなかった。たった一回の出会いだったのが、これで僕はすっかりマルセパンの虜になった。

名大生協の「パンだが屋」にあるマルセパンはちよつと高め



おとぎの家のよう VITAL

だけれど、どれも良いものばかりだ。こんなに近くでマルセパンに出会えるのは嬉しい。

読者のみなさんもぜひ一度マルセパンを賞味していただきたい。ビタルほどの衝撃はないが、誠実に作られた本物のパンを味わえるはずだ。

興味のあるかたはぜひともインターネットで検索してほしい。URLは以下の通り。

<http://www.guruman.co.jp/>

参加者の感想

女性が働きやすい職場作りに感銘

利用者アンケートを見て参加を申し込みました。最初、博物館前に集合というメールだけが来ていて、とまっていた。猿投行きバスに間違えて乗り込みそうになった。どれくらいの人で何で行くのか、緊急連絡先等があるとうう少し安心できます。

パン工場は小学生の時に敷島パンの工場見学に行ったが、そのときの印象とはちがっていた。そのときは袋詰めされた菓子パンを大量に流れてくるのを見た。マルセパンでは実際に人が生地から作っていて、手作業に驚いた。社長の思い通りのパンを作りたいという姿勢や、女性が働きやすい職場を作り上げていることに感心した。スーツではなく白衣を着て登場したのは驚いた。私はIBカフェでいつもお弁当を買うついでにパンを購入しています。確かに値段は学生さんにとっては高く感じてしまうかもしれませんが、社長の話をきけばきっと価格以上に価値に理解を示

して購入者が増えると思います。ぜひ名大に車を持ってきて講演とともに販売してください。

朝ごはんには食パンを食べているご家庭もあると思うので、職員向けに食パンの注文販売をしてはいかがでしょうか？ 家庭をもつ女性の方もたくさんいると思います。私だったら購入させていただきます。フロントではモーニングセットもしているのでもーストやベーグルをマルセパンのパンにしてみたいかがででしょうか。実現したらいいなと思います。

このような企画があるのを初めて知りました。IBカフェでのアンケート用紙も、販売している方が積極的に配るともとても良かったです。小さくてわかりずらかったのです。もしくは研究室などのポストに入れてくれたりメールで流していただけたら存在もより多くの人に知ってもらえるのではないのでしょうか。

次回は日本酒の工場見学があるといいです。車まで出したいので、大変かいてきていた。ありがとうございます。(鈴木)

こだわりのパン作りを
熱弁する鈴木社長



妥協を許さないこだわり

IBカフェで配布されたマルセパン利用者アンケートを見て参加しました。パン工場では普段口に運んでいるパンの工程を実際に見ることができたのでよかったです。小学生の頃に見学した某大手パン工場との違いが鮮明になりました。社長のパン作りの過程でいろいろな矛盾を感じて3つの工場を作ったという話が印象的でした。グルマンのお店が全部違う観点で作られているという話も、なるほどと思いました。世の中は常

にきれいに分けられるものではなくて、ひとつのことを純粹に突き詰めていくとどうしても相容れないものとの対立が発生して

しまっています。多くの場合、そこで妥協しつつ共存の道を探すのが一般的ですが、マルセパンの場合、いきなり妥協するのではなく、まずは純粋に追い求められる環境を作った上で、互いを切磋琢磨するという方法をとっていることが非常に興味深いです。

社長さんだから、マルセパンだからできる強みかもしれません。これからも三位一体となつて、将来を担う子供たちのためにおいしくて体にもやさしいパン作りを続けていく。

作る過程を実際に見て、製造者の話を聞くということの意味はやはり大きいと思います。できあがったものがどんなに素晴らしいものであったとしても、それを購入するわれわれ消費者の理解が足りないと、安易なものにどんどん埋もれていってしまいます。これからも楽しい企画をよろしく願っています。

(あんどれす)

東山キャンパスおよびその周辺のゾウムシ⑦

路傍の雑草にひそむゾウムシその2

理学研究科 井上晶次

前号では、春の七草、秋の七草の植物のゾウムシを紹介しました。今回はそれ以外の路傍の植物に棲むゾウムシを紹介し

す。東山キャンパス内を歩いているときどんな植物に気がつくでしょうか。大きな葉、そして周りの樹木や電柱に巻きついて成長しているクズ。子どもの頃、その実の種を抜いて笛にして遊んだカラスノエンドウ、私の子どもたちはピーピーマメと呼んでいました。笛にして遊んだ植物のスズメノテッポウもありました。花を摘んで首飾りを作ったシロツメクサ、普通葉は3枚ですが4枚葉のある四葉のクローバーを探して遊んだことはありませんか。新芽を摘んで母が餅に入れたヨモギ。黄色の美しい花を咲かせるタンポポ、花の後に残った白い綿毛の玉を吹いて飛ばして遊んだこともあります。食べると少し酸っぱい味です。食べると少し酸っぱい味がするイタドリ。イタドリの仲間(タデ科)ではギシギシ、ミゾソバ、ママコノシリヌグイ、イヌタデも生えています。ゾウムシを採集するようになって知った植物にカナムグラがあります。今回はそのカナムグラにひそむゾウムシを紹介します。



写真1 カナムグラヒメゾウムシ 3mm程度

◎カナムグラ(クワ科)
私がカナムグラという植物を知ったのは、2000年6月22日です。なぜそんなに詳しい年月日までわかるかといえば、それは標本です。その日、平和公園でそれまで知らなかった植物から4種類のゾウムシを採集しました。採集したときはいずれもすぐに名前がわからないゾウムシでサルゾウムシの仲間、クモゾウムシの仲間、ヒメゾウムシの仲間の3種と調べていました。帰ってきて図鑑で調べてすぐにわかったのは、カナムグラサルゾウムシ1種でした。採集してきたサルゾウムシは実態顕微鏡で見ると2種であることもわかりました。そこで、ゾウムシといっしょに持ち帰った植物

はきつとカナムグラであろうと見当をつけて植物図鑑を見るとやはりカナムグラでした。その後じっくりと調べて、トゲハラヒラセクモゾウムシ、ムネミゾサルゾウムシであると同定しました。残ったのは真っ黒で光沢のあるヒメゾウムシの仲間です。これまで採集した標本と比較すると、滋賀県の霊仙で採集していたヒメゾウムシの仲間とよく似ている、ほぼ同じということにいき着きました。しかし霊仙で採集したときの記憶はハッカリの生えた草むらであつたと記憶していたので少し異なるかともしれないと考えていました。この



写真2 左: カナムグラサルゾウムシ
右: ムネミゾサルゾウムシ
いずれも 3mm程度



写真3 ムネミゾサルゾウムシ

疑問は翌年、霊仙山に採集に行き、記憶にある場所と同じヒメゾウムシを採集し、植物を観察するとハッカもありましたが、カナムグラも沢山ありこでもこのヒメゾウムシをカナムグラから採集し疑問は解決しました。2000年は東山キャンパスのゾウムシを纏めることにしていたので、東山キャンパスでカナムグラを探しました。最初に見つけたのは、農学部のある湿地です。ここには名前のわからない真つ黒で光沢のあるヒメゾウムシが沢山生息していました。しかしこの年にはカナムグラサルゾウムシ、ムネミゾサルゾウムシ、トゲハラヒラセクモゾウムシは採集できませんでした。

した。

このヒメゾウムシについては、中学1年生のときに私を昆虫少年にさせ、さらにゾウムシに「はめた」I橋先生に標本を持参して同定を依頼しました。すぐにはわからず、その後、文献のコービーを添えて、カナムグラヒメゾウムシであることを教えていただきました。

その後ムネミゾサルゾウムシは、理学部から環境医学研究所を左手に見ながら山の上のグラウンドに上っていく道の右側にあるブレハブの裏にもカナムグラがあり、ここで採集しました。ここにはカナムグラヒメゾウムシも沢山生息しています。トゲハラヒラセクモゾウムシは東山キャンパスでは、カナムグラではなく、イラクサの仲間から採集しました。カナムグラサルゾウムシはまだ東山キャンパスから採集していません。そのほかカナムグラはさらにグラウンドに向かって上っていくと左側にある給水タンクの裏に生えています。ここからはいづれのゾウムシも採集してきていません。何とか東山キャンパスでもカナムグラサルゾウムシを探してみたいと思っています。次にヨモギにひそむゾウムシ

を書こうと思いましたが、字数が中途半端になったので、今回少し触れた私とゾウムシの出会いを紹介してみます。

私は小学生の頃から昆虫、ウサギ、ネズミなどが好きで飼育していましたが、もっと好きなのは野球でした。中学生になって念願の野球部に入り、将来はプロ野球の選手になりたいと思い練習に明け暮れていました。1年生の夏休みになる少し前、学校の紹介で三重県立博物館が自然科学教室を開催することを知り、野球部の練習をサボってそれに参加しました。このときに講師として指導していただいたのが、I橋先生でした。先生は指導というより自分が昆虫採集に熱中して珍しい虫を採集しては感動していました。採集した虫を見せると「いいの採ったね、僕もさがそ」といつて熱心に採集されていました。その後博物館では採集した昆虫の同定会が開催され、この同定会のコウチュウ担当の講師はやはりI橋先生で色々虫の話もしていただき先生の標本も見せていただきました。このとき印象に残っているのは「僕の採ってないゾウムシを採ってきてください」といわ



写真4 トゲハラヒラセクモゾウムシ
4mm 程度

れたことです。私は単純ですね、よし、先生の採ってないゾウムシをとって鼻を明かしてやろうと昆虫採集にはまってしまいました。そうすると、グラウンドの端で大声を上げ、玉拾いばかりさせられていた野球部の活動が馬鹿らしくなりやめてしまいました。子どもの頃はいいですね、現実を知らずに夢をもって好きなことをするんですから。こんなことをいうと「あんたは今までも好きなことやってるでしょ」という声がすぐそばから聞こえてきそうです。

字数も埋まってきたのでこの続きはまたの機会とさせていただきます。

ニエリスに一喝!!

変な聖火リレー

今年、中国の北京でオリンピック大会が開かれる。それに先だつて、先月から世界各地を聖火がリレーされている。

採火式の時から異常事態が起こった。五輪を手錠で描いた幕を持った人が採火の現場に駆け付けた。その、手錠五輪の映像は自由な世界には知れわたっただろう。何を象徴しているかも明瞭だ。

その後、ヨーロッパではイギリスでもフランスでもチベット人民に対する中国政府の弾圧に抗議する団体や、在留チベット人達による聖火リレー妨害によって、混乱の内に行われたことが報じられた。アメリカでは、聖火リレーの始まる前、聖火が通るはずのサンフランシスコの金門橋に抗議の垂れ幕が掲げられ、橋脚に上った人たちが逮捕された。それで、聖火リレーは突然

経路を変更し、誰も見ていないところでランナーだけが走ったという。それを中国の人たちは、暴徒達が中国に対して謂われのない侮辱を与えたと言つて息巻いているという。そういつている中国の人たちは、何も真相を知らされてはいないようだという。真相を知れば、そういう言い分は出てこないだろう。

おかしなのが、パキスタン。パキスタンは中国に色々恩義を感じているらしい。何か不測の事態が起こつて中国の怒りを買つてはいけないというので、イスラマバードのスポーツ施設内で市民から隔離された中で行われ、市民はテレビで見る他はなかったという。

次はインド、既にかなりな反発が起き、中国大使館前で亡命チベット人達が抗議していることが報道されている。日本でも

長野で行われるのだが、長野市は困惑の体だという。

平和の祭典であるオリンピック、その聖火リレーがこういう混乱の中で行われる原因はただ一つ、中国政府のチベット人民弾圧以外にはない。ダライラマの煽動だと中国政府は言っているが、当のダライラマはオリンピックを支持すると世界に向けて言っているし、中国からの独立も求めないと言ひ、中国政府との対話を求めているが、中国政府はダライラマを口を極めて避難するだけで、対話に応じようとはしていない。これは、明らかに事実であり、中国国内で起こっていることは我々にはその真相が分からないが、ダライラマの言動は中国の外で堂々とマスコミの前で行われている。我々は、双方の真実を知りたいが、一方しか分からない。分かつ

サイクロン被害

5月はじめ、ミャンマーをサイクロンが襲つて甚大な被害をもたらした。随分多くの人々が、飲み水にさえ不自由している。不潔な池の水を飲み、病気になるというとも聞く。それなのに、

ただことだけから物を言わざるを得ない。それによれば、決して、この聖火リレーの混乱はダライラマの煽動ではない。ダライラマの支持者が、中国のチベット弾圧に対して反対しているのだと理解せざるを得ないのである。そうでないというなら、中国政府は、それを明らかに世界の納得する形で明らかにする責任がある。(田 2008年4月17日記)

オーストラリアでのリレーでは中国人留学生で沿道は埋まり、「中国は永遠だ」とシユプレヒコール、世界の平和の祭典が中国によって歪められたとしか見えない。26日には長野でのリレーだ。(田 2008年4月25日記)

その後、ダライラマ側と、中国との直接対話が始まった。実りある成果を期待する。

(田 2008年6月記)

ミャンマーの軍事政権は当初、国際的な援助の申し出を、物は受け取るが人的な援助を全て拒否した。そして、自分たちで被害の救済は十分出来るのだと宣伝した。お偉方が被災地を訪問

しているニュースばかりを放送し、被災者の声は無視し続けた。一月以上も経ってから、国連の事務総長が直々に最高責任者と会い、受け入れを表明させた。なぜ、こんなに時間が掛かったのだろうか。

政府の責任者達は一体何を考えているのだろうか。さっぱり分からない(ただ、最近遅まきながら昔今の政治権力者のことについて色々の事例を見聞して、権力の亡者には丸で人民のことなど頭の隅にもないということがあるのだということ知らされた)。ミャンマーの場合、外国人に被災の様子や国民疲弊の様子を見せたくないからだという

スピリチュアルブーム

今、世の中、スピリチュアルブームだそうである。六月十日のNHKのクローズアップ現代で取り上げていた。こう聞いてもなかなかどうという事なのか私にはピンと来なかった。何のことはない、よく聞いてみれば、自分のことを自分で判断できず、占いか祈祷とかで判断して

説明を聞く。ミャンマーの国民の惨めな生活の状況は、詳細は分からないにしても、大抵のことはもう分かっている。今さらなぜ、というのがまともな感覚だが、権力亡者はどうもそうではないらしい。一体、彼らは何を大切だと思っているのだろうか。国民の生活などはどうでもいいのだろうか。自分たちのやり方が悪いと分かるのがそんなにいやなのだろうか。確かに嫌なことはいやだろうが、そんなら、きちんとすればいい。やれないわけではない。やらないだけだ。世界には、未だこんな国民無視の政権がそここにある。(田 2008年6月10日記)

貫って決めようということがはやっていけるのだそう。言ってみれば、自主性の喪失、合理的判断の停止だ。それが、以前の若者間の流行から、三〇代四〇代の分別盛りの人々の間に広がっているのだそう。テレビでも時折そういう占い師が大きな顔をして、偉そうなことを言っ

ているのを見たり聞いた。それがあつたが、今もそうだと見える。誠に困ったことだ。と云って済ましてしまえばいいのだが、どうもそうはいかない様子だ。高額な詐欺事件、多くの被害が出ている事件にまで発展している例もある。

親身になって相談してくれる人が一人もいない。家庭にも、職場にも。そんな人が増えていく。仕事上の問題を仕事の仲間と相談せず、縁もゆかりもない、専門知識もあると思えないような人を頼って相談する。そんなことが良いはずはなからう。しかし、そういう現実がある。

秋葉原の歩行者天国での無差別殺人事件、アメリカ力であつた銃乱射事件を思いだし、日本でも、最近、誰でもいいから殺したかったなどという事件。こんな事件の奥底に潜んでいることと同じような気がする。人に心を打ち明けて話が出来ないということだ。競争社会、人を出し抜いてやろうとする社会、仕事仲間はライバルの関係。こういう中ででき事である。

最近、絆という言葉をよく耳にする。人々の絆が大切だということである。そんなことを一言言わなければならないことが、

人々を繋ぐ絆が失われている証だ。しかし、だから放つて置いていいというものではない。やはり、人々の連帯が必要である。そうすれば、隣に住む人を切り刻んで捨てるなどということが起こるはずもなからう。

自分が住む地域社会においても、自分の属するグループや仲間においても、学校や会社においても、最初に必要なのは互いの挨拶だろう。

最近、私は奇妙な経験を割合よくする。道を歩いていて、自転車に乗っていて、見ず知らずの人から、にこつとされて挨拶と言うほどでもないが、何となく頭を下げ合うということが、ちよいちよいある。知っている人なら普通のことである。知らない人だから、奇妙と言えば奇妙だが、決して嫌なことではない。学校の構内でなら、自分は知らなくても、相手は知っているということもあるが、それなら特別のことではない。そうでないところでだから奇妙だといふのだが、私も、自然笑顔で頭を下げていけるのに気づく。

こんなことは滅多にあるわけではない。先ず、知り合い通しでの挨拶が先決だと思う。

(田 2008年6月14日記)

コンピュータの所為

論文の締め切りに間に合わなくなったことを、コンピュータの不具合の所為にしたり、通信が上手くいかなかったためにしたりすることがよくある。論文を待つているときなど、大変困る。本当の場合もあるだろう。自分がそういう場合に遭遇したら、大変な思いをする。

外国とのやりとりになると、中々上手くいかないことがある。インフラ自体の問題があったりすると、何ともお手上げで、結局郵便に頼らなくてはならぬ羽目にもなる。その郵便にも問題がある。便利なことはこの上なく便利な時代であるが、ひとつ歯車が狂うと全てガタガタになってしまうという危険性もある。

論文の締め切りに間に合わなくなったことを、コンピュータの不具合の所為にしたり、通信が上手くいかなかったためにしたりすることがよくある。論文を待つているときなど、大変困る。本当の場合もあるだろう。自分がそういう場合に遭遇したら、大変な思いをする。

外国とのやりとりになると、中々上手くいかないことがある。インフラ自体の問題があったりすると、何ともお手上げで、結局郵便に頼らなくてはならぬ羽目にもなる。その郵便にも問題がある。便利なことはこの上なく便利な時代であるが、ひとつ歯車が狂うと全てガタガタになってしまうという危険性もある。

「もったいない」と言ったって

ワンガリ・マータイさん、ケニア出身の環境活動家であり、2004年のノーベル平和賞受賞者である。その、マータイさんが、日本語の「もったいない」という言葉を取り上げ、この精神を重視すべきであることを説

いてから、「もったいない」は国際語のようになった。我々の世代は今の若い世代から見れば恐らく「もったいない」の権化かも知れない。今の物あふれの時代、何でも捨ててしまふ世の中のあり方ということが、

ワンガリ・マータイさん、ケニア出身の環境活動家であり、2004年のノーベル平和賞受賞者である。その、マータイさんが、日本語の「もったいない」という言葉を取り上げ、この精神を重視すべきであることを説

る。

ところで、おとり商品を指摘された企業が、あれはデータの入力ミスだと弁解している。これはどうも本当とは思えない。ミスにも本当のミスと確信犯的なミスがある。不特定多数に公開するようなものには元々ミスがあつてはならないのだ。データ入力ミスなどを残しておいてはいけないのだ。逃げ口上でしかない。

犯罪におけるこういう手口のやり方は何とか工夫して、きちんと取り締まって欲しいと思う。コンピュータの所為にしてはいけない。(T)

私には堪えられない。私自身はなかなか物が捨てられず、結果として狭苦しい中でごみ同然の物と一緒に暮らしているような、他人から見ればバカげた生活をしている。それでも、一生懸命整理をしてはいるのであるが。

この「もったいない」を地でいつて失敗したのが、赤福であり、今度廃業の憂き目を見た船場吉兆である。

赤福事件は去年発覚した食品偽装事件の象徴的事例だ。他にもチョコレートとか、ケーキとか、牛肉だとかいろいろ報道されたその締めくくりのような感じがした。何ヶ月かの営業禁止を受けて、種々の改善をして、漸く営業は再開された。初めのうちはなかなか買えないほどの人気ぶりだった。赤福はこの消費者の気持ちを有り難く受け止め、真面目に努力を続けて欲しいものだ。この事件にもつたない精神が働いていたことは確かだろう。消費者側にもそれを許すようなところもあった。それによって特に不都合も起こっていないかった。しかし、食の安全が叫ばれている今、その

風潮に逆らうものだった。もつたない精神の發揮のしどころを間違っていたのだ。

船場吉兆も食材の牛肉の産地を偽っていたのに始まった。社長が交代したりして、それがようやくおさまったところで、お客の食べ残した物を又別のお客に出していたということが発覚した。初めのうちはつべこべ抗弁していた。客離れがとまらずついに廃業ということになった。従業員が言うには、こういう事は随分以前からやっており、捨てようとすると叱られさえたこと。

確かに使える物は使うということは、個人的には何も咎められることはない。しかしである。何事もその場合ということを考えなくてはならない。

他人の唾が掛かっていたとしても、その人が余程ひどい病原菌でも出してはいない限り、それを食べて何かが起こるということとはなからう。知らぬが仏で平気で食べてしまうだろう。私の経験で言えば、お茶を出してくるのに、少し茶飲み茶碗にお茶をつぎかけてベチャベチャ喋っている人

がいる。やはり気持ちが良い物ではない。逆に、自分が茶菓子を出されたのに話にむちゅうになつて結局その菓子は食べずに残すことがある。ただ、そのままにしておけばその茶菓子の運命はどうなるのかを考えて、貰つて帰ることにしている。捨てられればもつたないし、そうで

だから言つたのだ

名大蔡で、模擬店のクレープを食べて食中毒、というニュースが伝えられて最初に頭を過ぎった。「だから、そういったではないか」と（後からこういう事を言うのは嫌いなのだが、これだけは言っておきたいと思う）。

以前、毎年の学年暦についての案が審議の対象として、教授会に示された。私は何回か、名大蔡の日程に物言いを付けたことがある。この時期を避けろと。しかし、誰一人私の意見には賛意を表さなかった。

もともと、この6月に開催されるのは、伊勢湾台風の所為で、

なければ唾が掛かっている物人様に食べさせることになると思うから。

もつたない精神は大変大事だ。無駄な照明などは無くすべきだが、必要な物は惜しむべきではない。そのところをよくよく考えなければならない。(T)

偶然そうなって、以後それを踏襲してきただけなのだ。だから、それを伝統だと言つてしがみつ

くほどのことはない。というのは、私自身が学生の時始まったことだからよく知っている。それは主として体育祭の色合いのものだった。当時、模擬店で食べ物売るなどということはなかった。体育祭だけならば問題はなかったかも知れない。だから、当初は何も今回のような問題は起こらなかったが、それ以後様子が違ってきた。問題が起こらなかったのは幸運だった。

ただし、私は、この時期

の開催にはことあるごとに長年異議を唱えてきた。でも無視され続けてきた。私の言うことには、誰も耳を貸してくれなかった。私の強調した理由が、6月というのは学年はじめの種々の行持が一段落して、何の邪魔もなく授業が出来る時期、その時に、こういう行持を挟まないで欲しいということだったので、聞いて貰えなかったのかも知れない。もつと、この時期の食中毒の危険性について注意を喚起すべきだったと今になって後悔している。

これから、これを教訓にこういう事の無くなることを務め。

それとともにもう一言憎まれ口を言えば、学生はこんな金儲けに走るなということ、今、食の安全ということが喧しい。学生だとして、責任は免れない。社会人なら、再起不能ほどのダメージだ。僅かな金のために（と）いうと叱られるだろうが、こんな危険なことには手を出さないで欲しい。それでもやるなら、食品を扱う以上は、徹底的な衛生管理の上でして欲しい。

(T)

6 月度理事会報告

6月16日18時からフレンドリー南部食堂において6月度理事會が開催された。

【協議決定事項】

1、全国大学生協連合会臨時総会代議員選出の件

名大生協の代議員は3名で野田（学生）、柴山（職員）、加藤（職員）を選出した。

【協議事項】

1、第80回通常総代会の開催結果の報告と総括

5月30日17時15分～20時40分に南部食堂ホールにて総代会が開催され、各議案は賛成多数ですべて可決された。選出総代は252名、実出席81名、書面議決参加97名、オブザーバ参加30名であった。レジ袋削減に向けたアンケートには千種区で10月からレジ袋有料化の取り組みが始まることを知らなかった方が7割強いた。回答者全員が有料化に賛成しているが、マイバッグについては6割の方が使用しないと答えている。南部食堂改修についての意見では席数を増やしてほしいという要求が一番であり、続いて営業時間の延長、明るく清潔にであった。

2、南部食堂改修計画に関して全学自治会連合会より学生の

要求を集約するアンケート活動を実施することについて協力要請があり、学生自治会と一緒にアンケート活動を早急に実施することとした。

【報告事項】

1、組織委員会活動報告

2、5月度供給および損益結果に関して

供給高は3月は好調であったが、4月5月と落ち込んでいて、単月で2400万円予算を割ってしまった。特に書籍部での予算割れが大きく理工書で昨年の3割弱減、利用班では昨年の65%減の利用となっている。

3、総長・理事長懇談会（新体制の挨拶）および大学との懇談会準備に関して

総長との懇談会では生協の新体制についての紹介と南部食堂の改修についてお願いした報告と副総長との懇談会に向けて生協の経営状況、学生の新学期活動の報告、南部食堂改修期間中の対応検討、オープンキャンパスでの協力について提案された。

4、労組春闘および夏期一時金要求書回答について

5、大学生協（連合会）新マーク選考に関して

6、年間会議開催計画に関しての報告があり20時40分に閉会した。

教職員委員会活動日誌（2008年5・6月）

月 日	事 項	場 所
5月 8日 (木)	役員報酬検討委員会	ゆ～どん
10日 (土)	地球村バーベキュー	多治見市地球村
11日 (日)	豊川海軍工廠跡地戦跡調査ツアー	STE研究所
12日 (月)	5月度常任理事会	ゆ～どん
13日 (火)	東海地域センター教職員委員会	ホテル「ル・ウエスト」
17日 (土)	マルセパン工場見学	岐阜市垂井町
19日 (月)	5月度理事会	フレンドリー南部
23日 (金)	総代会打ち合わせ	南部食堂
26日 (月)	5月度教職員委員会	ゆ～どん
29日 (木)	総代会リハーサル	南部食堂
30日 (金)	第80回通常総代会	南部食堂
6月 6日 (金)	東海地域センター教職員委員会	ホテル「ル・ウエスト」
7日 (土)	全国教職員交流セミナー第5分科会開催検討会	京大会館
9日 (月)	6月度常任理事会	ゆ～どん
16日 (月)	6月度理事会	フレンドリー南部
19日 (木)	総代・組合員懇談会	グリーンサロン東山
19日 (木)	東海地域センター地域部会	東海会館
24日 (火)	第15回名古屋大学・生協懇談会	グリーンサロン東山
24-27日	夏の教職員組合員交流企画	
	24日：愛の献血助け合い活動	VBL駐車場
	24日：うたごえ喫茶 in IB Cafe	IBカフェ
	25日：映画「ハリーポッターと不死鳥の騎士団」	VBL 3階ホール
	26日：ビアガーデン	ゆ～どん
	27日：映画「ハリーポッターと不死鳥の騎士団」	カフェフロンテ
28日 (土)	東海地域センター理事会	東海会館
30日 (月)	6月教職員委員会	ゆ～どん

名大生協



「かけはし」編集委員会行

.....山.....折.....り.....

○氏 名.....組合員証番号.....

○所 属.....研究科
学部
センター.....専攻・課
学科・掛（教職員・院生）

○連絡先.....内線.....

○誌上匿名希望の方はペンネーム.....

.....山.....折.....り.....

①瑞浪・中国人殉難者慰霊祭と化石博物館見学【9月21日（日）】

参加申込用紙

番号	氏 名	所 属	年 齢	内 線	組合員証番号

※保険加入において年齢が必要ですので必ずご記入ください。

_____ アンケートに _____
_____ ご協力願います。 _____

第 278 号

クイズのこたえ _____

☆今月号を讀ん
での感想

☆記事にしてほしいこと。生協へのご
意見やみなさんからの通信をぜひ。

COOP クイズへの応募、アンケートの回答は、<http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/kakehashi/answer.html> から送信できます。また、e-mail: kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp でも受け付けます。必要事項をもれなく記入してください。

5・6月号
の感想

★魔言で述べられていたメイドインジャパン、なかなか見ない気がします。そのため見つけるとうれしい気がします。最近買った100円ショップのクリアケースがメイドインジャパンでちよつとうれしかった覚えがあります。

【玉木一郎】

★井上さんの「路傍の雑草にひそむゾウムシ」が面白かったです。男子はいつまでたつても昆虫が好きなんだなあ、と思いました。理学研究科にいるとなかなか全学のほうへ行くことも少ないのですが、新しくなったプランゾを見に行ってみたいと思いました。

【湊祐輔】

★ゾウムシの特集が面白かったです。テントウムシでもチョウでもなく「ゾウムシ」。普段気にも留めないだけに、あんなにたくさん種類のいることに驚きました。帰り道にでも探してみようと思います。

【ぼんだ】

★ゾウムシの記事に触発され、実際にカラーのゾウムシを見に行ってきました。白黒写真ではよくわかりませんでした、本

当に微妙な色合いの違いが見られて面白かったです。ゾウムシの他にも、トカゲなどが潜んでいたりと、東山キャンパスの自然の豊富さに驚かされました。

【MY】

★井上晶次さんのゾウムシへの熱い思いがひしひしと伝わってくる記事でした。最初にゾウムシと読んでしまつてすみません・・・。

【ラクチドくんJr】

★初めてこのかけはしという雑誌を読ませていただきました。生協で催し物などの情報が色々ついで役に立ちそうな気がします。個人的にはニュースに一喝の「うらがね」の内容に共感を覚えました。昔から続いているこの政治や市区町村の構造について、今一度みつめ直してみる必要があると思います。

【BOB】

★ニュースに一喝！「うらがね」に強く共感しました。最近何でも値上げばかり。税金は増えていくばかり。半ば「仕方ない・・・」の雰囲気はただよっているように思いますが、一方ではこのような裏金や無駄遣いがニュースになっていきます。おかしな世の中ですね。

【Y】

★この雑誌の存在を始めて知りました（一来号も楽しみます）

【北村神悟】

★魔言を読ませていただいて、自分も「切磋琢磨」しなければと痛感しました。

【紫苑】

★「三重地域生協の戦争遺跡を巡る旅」を興味深く読みました。戦争の爪痕を巡るツアー自体やスピーチの内容にも、非常に感ずる物がありました。が、「力こそ平和が維持できる」と主張される米国老紳士の言葉に、とても恐ろしいものを感じました。こういう考えを当たり前と信ずる人々がいる限り、また戦争が繰り返されていくのだろうなあ、と悲しく思い知らされました。

【Mi】

★「読書ノート」のコーナーが魅力的です。このコーナーを拡大して、教員、学生による「読書ノート」を作ることができれば面白いと思います。

【山口統平】

★今回初めて読みました。おもしろかったです。

【ナンバー6】

★「読書ノート」のコーナーが魅力的です。このコーナーを拡大して、教員、学生による「読書ノート」を作ることができれば面白いと思います。

【山口統平】

★今回初めて読みました。おもしろかったです。

【ナンバー6】

★表紙の、そしてクイズの答のプランゾって、何？見たところ、コンビニみたいだけど、生協店舗？

【ナンバー6】

意見と
通信意見と
通信

★Dining Forestのみそ汁にたくさん具が入るようになったので、ついつい取つてしまいます。景気の良くならないと言われるこのころですが、みそ汁の具の好景気が続くことを祈ります！

【ラクチドくんJr】

★あらゆるものが値上がりする中、生協にはなんとか価格維持で頑張ってもらいたい！

【ナンバー6】

★生協食堂において連続する原材料の高騰は影響が大きく9月には第1次の価格改定を検討しております。

【箕浦常務理事】

No. 278
2008 月 7・8 月号



採用の方には図書カードを進呈。

[illegible]

前回の問題

- 締め切りは8月17日
- 発表は本誌、9・10月号
- 正解者（但し、①組合員
Ⅱ当選後ご加入も可、②
意見・感想記入者）の中
から、抽選で5人の方に
図書カードをさしあげま
す。
- 生協への意見・要望をど
しどしお寄せ下さい。

・ 応募総数 …… 16人
・ 正解者数 …… 16人
・ 当選者（敬称略）

– 24 –